

## 夏休み！陶芸に挑戦しよう！ にこにこ陶芸教室事業開催



8月4日、市民センターでにこにこ陶芸教室が開かれました。  
この事業は、町内で活動する陶芸サークルの全面的な協力により開かれ、参加した18名の子どもの違い、お皿や花瓶など個性豊かな作品を作り上げていきました。  
この作品は素焼きをして、2回目の陶芸教室で色づけ作業を行います。

## 夏休み！親子で料理を楽しもう！ おやこの楽しい料理教室



8月4日、保健センターで親子料理教室が開かれ、町内の親子26名が参加しました。  
この日の献立は、地元で収穫された新鮮な食材を使用したキーマカレー、ピーマンのごまあえ、卵スープなどで、参加した子ども達は、栄養士から説明を受けた後、慣れないながらも真剣な表情でピーマンの細切りや食材を炒める作業に挑戦しました。

## 少年野球新冠大会 管内から8チームが結集

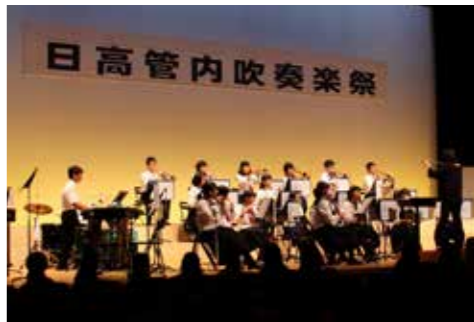


8月7日、新冠町民グラウンドで、第38回少年野球新冠大会が開かれ、日胆地区の8チームが参加し、優勝を目指して熱戦を繰り広げました。



開会式では、新冠野球スポーツ少年団主将の関口幸次郎選手が全選手を代表して選手宣誓を行いました。  
試合はトーナメント形式で行われ、新冠少年団は、決勝まで駒を進めました。惜しくも静内みゆきフェニックスに敗れ、準優勝となりました。  
選手たちは、日頃の練習の成果を発揮し、はつらつとプレーしていました。

## 第37回日高吹奏楽祭 日高管内の吹奏楽団体が一堂に



8月21日、レ・コード館で、第37回日高管内吹奏楽祭が開かれ、日高管内の中学校・高校・一般社会人の団体が演奏を披露しました。  
この事業は、日高吹奏楽連盟が毎年開催しており、当日は悪天候により参加をできない団体もありましたが、それでも14団体・350名の演奏者が集まり、日頃の練習の成果を披露しました。

## 台風9・10号による被害 町内各地で浸水や高波の被害



二つの大型台風による影響で、町内各地で被害が発生しました。  
8月23日早朝には、台風9号の影響により猛烈な雨を観測し、町内全域で住宅の浸水や道路や草地の冠水被害が発生しました。  
また、30日夜には、台風10号の影響で強風が吹き荒れ、倒木や高波による住宅損壊などの被害が発生しました。

## サポートセンター「えましあ」 開設1周年記念感謝祭開催



8月6日、字本町のサポートセンター「えましあ」で開設1周年記念感謝祭「えましあまつり」が開かれました。  
当日は、地元食材を購入できる露店などが設けられたほか、ステージではスイカの早食い大会や大声コンテスト、しずないフォーク村の演奏などが行われるなどイベントが盛りだくさんで、会場は多くの人で賑わいました。

# ま ち の 話 題

あ れ こ れ

## 室工大の農業体験 交流会で親睦を深める



8月16日から25日まで、室蘭工業大学の学生9名が農業実習をしました。  
この事業は、学生に農業実習を通して農業への理解と広い社会的視野を身に付けさせたいという大学の意向を受け、町民有志が学生を受け入れたことに始まり、今年で16年目を迎えました。  
実習中、学生は受け入れ農家に宿泊しますが、この間の一日だけは、学生と受け入れ農家が美宇生活センターに集まり交流会を開きます。今年の交流会には、昔の実習生も駆けつけ、近況報告をし、昔話に花を咲かせました。  
実行委員によると、近年受け入れ農家が減少していることから、次年度以降は、協力農家を増やしていきたいと話していました。

## 農業支援員受入農家交流会 支援員やOBが近況を報告



8月25日、太陽開拓婦人ホームで農業支援員とOB、受入農家の交流会が開かれました。  
町ではこれまで9名が支援員として活動し、その内4名が就農を果たし、現在も3名が就農に向けて活動しています。  
交流会では支援員やOB一人ひとりから近況が報告され「今年子どもが生まれました」と報告があると、会場は拍手と歓声に包まれました。

## 新冠の夏の風物詩 にいかつぷふるさと盆踊り2016



8月13日、役場駐車場を会場として、ふるさと盆踊りが開かれました。  
以前は、地域ごとに開かれていた盆踊りも、今では珍しい風景となつてしまいました。この日は、華やかな浴衣を身にまとった多くの家族連れなどが会場に集まり、お菓子まきに参加したり、盆踊りに参加したりと、北海道の短い夏の夜を楽しみました。

## 利用者と家族の夏のイベント おうるの郷で夏祭り



8月27日、おうるの郷で一日限りの夏祭りが開かれ、会場には、焼き鳥やから揚げ、採れたて野菜やスイーツなどの販売ブースが所狭しと並べられました。  
利用者は、お祭り用の幕の内弁当に舌鼓をうちながら、家族と楽しい時間を過ごし、また、フラダンスや子ども達のヒップホップダンスなどの余興を楽しみました。